米国ワシントン州
# 住宅産業情報
2002年 春
第12号
日本のお客様とワシントン州を結ぶ日本語版情報誌
発行：米国ワシントン州政府通商経済開発局

## 米国のリモデルはここまで進んでいる

### シアトル発　高級住宅への大改造プラン

**日本の新築住宅着工戸数が将来100万戸時代の到来が予想され、確実に転換期を迎えています。そんな状況下でリフォーム市場が大きく拡大していますが、まだ修理・改装といった小規模な内容にとどまっているようです。反対に米国の住宅政策はずっと昔から充実しており、中古住宅市場における先進国としてたびたび取り上げられています。シアトルにあるチェニー工務店社長、デビッド・チェニー氏に最近完成したリモデル・プロジェクトについて語ってもらいました。米国のリモデルの一端が垣間見えるかもしれません。チェニー氏は年に2～3棟の高級住宅を建築し、30年以上におよぶ業界経験の間に1,500の新築住宅（内1995年から98年の間は日本国内で70棟）と数百におよぶリモデル・プロジェクトに携わってきました。**

リモデル（米国ではリフォームではなくリモデルという）のきっかけとなるのは家の老朽化、家族構成の変化、空間の拡大などさまざまだ。くわえて米国では古い家を保持するためにリモデルすることもある。新居＝新しい家とは限らず、古い家を新居とする方々も多数いる。昨年、クライアントからの依頼で完全なリモデル工事を行った。シアトルに住むこのクライアントは1946年に建てられたワシントン湖とシアトル市内が一望できる小さな家を購入しリモデルすることになった。基礎を残して取り壊され、10ヶ月の期間と$600,000（約78百万円）の総工費をかけて、新しく595㎡の高級住宅を建てた。プロジェクトの開始から終了時までに25の下請業者と100人におよぶ職人が携った。

これだけの費用をかけて大工事をするならいっそ新築にすれば、と思われる方もいるでしょう。し

リモデル前の1946年に建てられた家

リモデル後

（2ページにつづく）

## 話題の住宅プロジェクト　Redmond Ridge

# レッドモンド・リッジ

www.redmondridge.com（英語のみ）

職場に近く、豊かな自然に囲まれながらも近代的な設備の整った快適な我が家に暮らす。日本人にとっては夢のような生活だが、ワシントン州ではこのようなコミュニティーがたくさんあります。シアトル市内から東へ50キロに位置するレッドモンドはマイクロソフト本社がある町としても有名ですが、レッドモンド・リッジはそんな街づくりを目指している開発途中の分譲住宅地です。完成時には400ヘクタールの広大な土地に$180,000から$550,000（約23.4百万～71.5百万円）の販売価格で1500戸の戸建住宅とコンドミニアムの建築が予定されています。このほかに272戸のマンション建設、また、ビジネスパーク用地として115,000㎡、そして商業用スペースとして9,500㎡を予定しており、最終的に5千人がレッドモンド・リッジで生活することになっています。

エバグリーン建築資材貿易振興会（ＥＢＰＡ）が主催した2001年

285㎡の戸建住宅。販売価格$450,000（約58.5百万円）。マレー・フランクリン・ビルダーズが建設

２月の冬季セミナーにご参加いただいた25名の工務店や建築家の方々がプロジェクトを訪れ、建築中の現場を数戸視察しました。

５年前から開発が始まったこのプロジェクトでは現在600戸が完成されています。土地はウェハウザー・カンパニー所有で、開発業者は関連会社でもあるクワドラント・コーポレーション（Quardrant Corporation）が手掛けています。

クワドラント・ホームズによるモダンな３ベッドルームの戸建住宅。ポーチは伝統的なスタイル。家の裏手から２台収容のガレージへと続く。

（8ページにつづく）

目次

米国のリモデルはここまで進んでいる …… 1
話題の住宅プロジェクト　レッドモンド・リッジ …… 1
プロフェショナル・ヴュー …… 3
EBPA夏季住宅セミナー …… 4
Meet EBPA　株式会社カラーワークス …… 5
米国の住文化を伝える　トータル・インテリア・デザインなくして本物は造れない …… 9
ビルダー側のプラン提示型から顧客側のプラン提案型へ　プランブックを使った新しい顧客獲得の道 …… 11
作品紹介 …… 11
アメリカ本格2×4工法をパネル化工法で高規格構造の実現と、コストダウンへの近道 …… 12
住宅建材セミナー開催「健康住宅とアメリカ住宅建築事情」 …… 14
クラシファイド …… 14
ワシントン州政府が発行する書籍一覧・活動スケジュール・資料請求 …… 15

連絡先：米国ワシントン州政府通商経済開発局日本事務所　〒105-0001　東京都港区虎ノ門5-4-8-301
TEL：03-5776-7766　FAX：03-3459-0897　e-mail : jwnko@gol.com　http : //www.trade.wa.gov/jpn_housing/
担当：御子柴（みこしば）淳子　Contact : Junko Mikoshiba

かし、クライアントは立地条件にこだわり、この中古住宅の購入を決めた。米国では眺望が新築、中古を問わず住宅の価値に大きな要素となっているといえる。

リモデルされた住宅は1階に台所、ファミリールームと家族のインフォーマルなダイニングをいっしょにしたオープンなフロアプランが特長となっている。このほかにリビングルーム、フォーマルなダイニングルーム、書斎とバスルームが隣接したゲストルームが1階部分にある。

２階にはベッドルームが３つ、ホームシアター／メディアルーム（1.5km以上の配線）、エクササイズルームと洗濯室がある。また、地下室にはもうひとつ洗濯室があり、ユティリティー・ルームや倉庫、ワインセラーもそろっている。

## 躯体・エクステリア

躯体は２ｘ６ディメンション・ランバー。１階の床部分は心々16"ピッチ間隔で元の家の２×10梁を使用した。２階の床部分は心々12" ピッチで14" のTJIを使用したため堅い床ができた。内壁には２ｘ４のジョイント・フィンガー材を使用。外壁の合板は1/2"ＯＳＢ材を使用し、密に釘打ちした。内壁の合板には1/2"　5層合板を使用。屋根は5/8"の合板、床は3/4"　Ｔ＆Ｇ合板で接着剤であわせた後釘打ちする。外壁断熱材はR19、屋根はR38、屋根裏はR19。

外壁にはアスファルト防水紙を使用した。この防水紙は、恒久性があるため、防水紙の裏に水分がはいった場合でも表面を伝って逃げていく。さらにあらゆる水分の浸透を防止するために、1メートル幅の防水紙の層を施した。一番下の列が2層で、次のうえの層1枚を下の層の上部450ｍｍに重ねてゆくので、すべての列が450ｍｍ分2層となる。サイディングはステイン済みのシーダー外壁材で防水紙の上から直接止めた。

重ね合わせた防水紙にシーダー外壁材が直接止められたところ

## 窓とドア

窓やドアは全部で51箇所ある。設計上の計算によると窓やドア周りに三重のフレーミングが必要なかったので、スタッドを100本程使用しなくて済んだため、1,000ドル節約することができた。

伝統的なスタイルの窓はペラ社の断熱二重ガラス、Low E、アルゴン入りアルミクラッド木製サッシを使用した。室内ドアはペイント・グレードの無垢ドアを使用。

広い玄関には1050mm幅のドアと両サイドに300ｍｍのサイドライト付き。ダグラスファー材の踏み段及びレールドア。ドアの真鍮ロックシステムは風雨を防ぎ、熱効率がよい。

ペラ社のアルミクラッド木製サッシ

断熱二重ガラス／Low E／アルゴン入り

両側にサイドライトのあるダグラスファー材の踏み段及びレールドア

すべての窓は次の要領で施工された。

- ●外面の開口部には半透明のプラスチック製膜の水切りを取付けた。
- ●窓はシリコンのコーキング処理をされた水切りの上に施工した。
- ●窓本体、両サイドと底のフランジを釘打ちした。
- ●窓のフランジの上に防水紙（ハウスラップ）を取付けた。
- ●ヘッドフラッシングはトリムの上に施工。
- ●窓本体は窓枠内（四方均等になるよう）の中心にくるよう調整されて、狭み木とエラストマー系・コーキング（水性シリコンコーキングで普通の水性コーキングより掃除しやすい）で固定した。

（注：上記の窓・ドアの施工の詳細については本誌のバックナンバー５号～８号、または本号の15ページに資料請求申込書がありますので、お申込ください。）

## 内装

１階部分にはブラジル産の広葉樹のマホガニー・ウッド・フローリングを使用した。すべての内装用トリムはＭＤＦ、ペイント・グレード材を使用。大きな家に栄える幅のある重厚なカスタム・モールディングを作るために安価な方法をとった。標準のモールディングをまず使ってトリムの外側のエッジにもうひとつのトリムをビスケット（狭み木）・ジョイント・マシーンを使って接着させた。

標準のトリムを２つ接着することで特注したような幅の広いモールディングを作った

６ページの写真は内装工が書斎のダブルドアを並べて取付けている。全サイドの隙間が均等でないといけないし、ドアも互いに相対しないといけないので、施工は難しい。狭み木を使ってドアの下に均等な隙間を作る。ドアの下に狭み木をおいてからドアを閉じて狭み木をはさみ込むと均等なスペースができる。

1階部分のマホガニーのフローリングとＭＤＦペイントグレード材の内装

（6ページにつづく）

アメリカ・シアトルより
貴社の業務をサポート
「建築資材輸入」の
お手伝します

日本人経営の会社です
商慣習や言語の違い心配いりません。
数量の大小に係わらずお手伝します。

IMPAC COMPANY, INC
インパック・カンパニー株式会社
5059 S.W. Admiral Way Seattle, Washington 98116
TEL 206-937-4825　FAX 206-937-4988　担当　大川

# Professional View
## プロフェショナル・ヴュー

**前号のミスーン・パートナーズ社の建築士ロジャー・ウィリアムズ氏に続き、株式会社ノウガアンドカンパニーの納賀雄嗣氏に日本の住宅市場のあり方・提案をいただきました。写真はすべてのちに述べていただく二重構造住宅のヒントとなった納賀氏のプロジェクトです。**

## 中古住宅市場の構築のための設計手法、構法を考える

米国人は家族構成、生活様式そして経済情況の変化に合わせ、一生に数回住まいを変えると言われています。そしてそうした住み替えを可能にする中古住宅市場が確立されており、年間約550万戸の中古住宅が市場に流通していると言われています。然し日本人の場合はそのような習慣は一般化していません。私の家族も例にもれず戦後まもなく建てられた木造２階建ての住宅に30年以上住み続けてきました。その間様々な変化に対応し大小合わせて数回に及ぶ改築改装を繰り返してきました。それを可能にした大きな理由は我が家が木造であったからだと思っています。築50数年も経てば様々な部位が劣化します。木材防腐処理技術が無かった頃設置された土台の一部は腐食していました。木造住宅の場合、腐食した土台周辺を仮に補強し、新しい土台に取り替えることも容易です。しかし小さな部屋をおおきな部屋へと改装するためにずいぶん苦労しました。邪魔な柱を取り除く為には梁の補強が必要です。時には新しい躯体と同程度の費用がかかりました。この構造上の制約は多様なニーズに対応出来る中古住宅を育てていく上で大きな障害となります。さらに30年後のすまい、住生活を考える上で、またサステイナブルな住宅が求められている今日改めて考えるべき課題ではないかと思います。

### 住宅の計画、設計手法を見直す

第一の課題は住宅の計画、設計手法にあると思います。住宅産業において建材、設備分野は技術革新を繰り返し、すまいの質そして性能の向上に貢献してきました。それには、住宅産業分野の国際化も大きく貢献しています。米国では特にワシントン州が過去10数年にわたり設計、施工、建築資材そして住宅環境のあり方等について多くの提案をしてきました。私もサミットハウス、スーパーハウス、シアトルビレッジ等、数多くの米国のプロジェクトの設計に関与する機会を与えられ多くを学びました。そして総合的なプロジェクトが今日の住環境に対する意識の高まりについて寄与していると思います。これまで住まいと言えば屋内の生活空間がイメージされがちでしたが、近年のガーデニングブームは戸外も立派な生活空間であると、生活者が意識し始めたことの現れだと思います。日本の家並み、町並みは除々に綺麗になり始めています。それに地区計画のような供給側が環境担保のためのルールを定まるのではなく、生活者が自発的に各々の個性を表出し外部環境の整備をする、こうした一連の傾向は30年前に比べ日本が豊かになり、日本人がゆとりを持ち始めたことを意味していると思います。30年後の日本のすまい、住生活に多くの可能性を感じますが前述のこれからの住まいづくりの課題、計画、設計手法に関してはあまり変化が無かったように思えてなりません。

ウッドプラザムラタ

稲城市立小学校

例えば130㎡程度の住宅を計画する場合、住戸プラン（間取り）が決定された時点で構法がきめられその構造システムに基づき、経済的に最も有

（9ページにつづく）


"地球にやさしい"しっかりと環境のことを考えて作られた商品です。

生涯保証

日本とアメリカ政府によると…プレミア・パネルは地震に対して2×4より1.6倍強く、断熱効果は60％アップします。

# プレミア・パネル

**ソーラー・セーリング・システム**

従来の在来工法を比較すると、この新しいシステムを導入することで、施工費その他ランニングコストを含めて、
**6百万円のコストダウンへつながることを保証します。**
是非詳細を当社までお問い合わせ下さい。

**構造用断熱パネルはきわめて価値の高い建材です。**

EPS及びSIPの両製品を製造する世界最大メーカー。
ボーレイトを使ったSIP及びEPSのシロアリ防虫処理は、弊社の社員によって発明されました。
台風、吹雪、地震から守ります。
害虫、騒音や暑・寒気など寄せつけません。

建築基準法第38条認定

在来・2×4・ログ・商業建物などの特殊な屋根への使用
プレカット壁及び床パネルシステム
その他EPS発泡スタイリンとR-GARD断熱ボード

2002年3月5日(火)～3月8日(金)開催の東京ビックサイト・建築・建材展2002(東5・6ホール)と3月14日(木)～3月17日(日)開催の西日本トータルリビングショー・ワシントン州政府／EBPA内当社のブースへぜひお立ち寄り下さい。

プレミアパネルの断熱材に使われているEPSは、身体や環境のことを考えて作られています。他の断熱材と比べて下さい。

EPS発泡ポリスチレン
安全
健康に良い
有毒ガス無

グラスウール
結露・熱に弱い
肺ガンの危険

ウレタン系
ホルムアルデヒド
シアンガスの発生
断熱効果の低下

プレミア・ビルディング・システムズ　Premier Building Systems

米国　TEL : 253-549-4901　FAX : 253-549-4902
4600 70th Ave. East, Fife, Washington 98424・USA
E-Mail : todddrumm@aol.com
国際輸出責任者：ドラム・タッド

日本　TEL : 03-5675-5602　FAX : 03-5675-5610
〒134-0087 東京都江戸川区清新町1-1-1-26-505
Eメール：pbsjapan@ballade.plala.or.jp
担当者：上里光治

エバグリーン夏季住宅セミナー

エバグリーン 建築資材貿易振興会 日本事務所

# インテリアデザインのトレンドと ポートランドストリートオブドリームズ

エバグリーン夏季住宅セミナー2002は、ビルダーや設計士、デザイナー、建材ディストリビュータを対象にアメリカの最新高級住宅製品を見学できる機会を提供致します。ワシントン州シアトルの高級住宅を訪問後、オレゴン州オスウィゴ湖で開催されるポートランドストリートオブドリームズに参加見学する他、シアトルデザインセンターで最新のデザインやライフスタイルのトレンド、今日の米国木造住宅プロジェクトに採用されるデコレーティングのアイデアや建築資材、インテリア設備等を学びます。

## プログラムと特色

### 2002年 ポートランドストリートオブドリームズ

ポートランドストリートオブドリームズは、6棟の高級住宅の展示会でオレゴン州オスウィゴ湖のアサトンハイツにて開催されます。これら住宅の価格は95万ドル～200万ドルで、1,050～1,715平方メートルの区画に建てられ、トゥアラティン峡谷、フッド山やキャスケード連山のパノラマ風景を望むことが出来ます。昨年は9万4000人以上の人々が見学に訪れました。

### シアトルデザインセンター

シアトルデザインセンターは米国北西部とカナダ西部において、多種多様な住宅設備や家具の中心的マーケットや独自のデザイン提供で全国的に有名な施設です。3万3千平方メートル内の敷地に60ものショールームが常設されている施設で、1,500社以上が製造するデザイナー家具、ファブリックス、アクセサリーや建築製品が展示されています。

### 夢の実体験

- ●2002年 ポートランドストリートオブドリームズの1棟でホームビルダー協会によるガイド付き案内に参加
- ●同プロジェクトに携わったホームビルダー協会関係者から直にストリートオブドリームズの魅力を聞く
- ●プロフェッショナルデザインと高級住宅設備をツアー見学

### その他のプログラム

- ●メジャーリーグアメリカンリーグチャンピオンシップのリマッチとして、シアトルのセーフコフィールドにてイチロー、佐々木や長谷川が活躍するシアトルマリナーズとニューヨークヤンキーズ戦を観戦
- ●複合住宅開発現場を訪問し、戸建住宅と集合住宅モデルとフロアープランを見学
- ●ミニトレードショーやシアトルでのレセプションにて、建築家、建築資材製造会社や輸出業者等と情報ネットワークを構築

### 日本人にあったプログラム

- ●エバグリーン住宅セミナープログラムは日本人参加者が求める情報などについて、参加者の要望にそうような内容となっています。
- ●建築業界に精通する日本人通訳
- ●日本語に翻訳された分かりやすいプレゼンテーションや教材、現場視察のための資料
- ●現在の日本住宅市場に直結しているタイムリーで情報豊富な内容

**料金に含まれるもの：**

- ●技術セミナーの日本語資料
- ●セミナー受講料とツアー中の通訳費用
- ●シアトルとポートランドのセミナーと現場視察へのバス費用
- ●8月19日・20日の昼食とレセプション費用
- ●当セミナー受講証明書発行費用
- ●製品カタログ費用

**料金に含まれないもの：**

- ●航空運賃
- ●宿泊費用
- ●空港往復の交通費
- ●8月18日（オプショナルデイ）の食費、8月19日・20日の朝食と夕食

### ■2002年エバグリーン夏季住宅セミナー

| 日付 | 時間 | プログラム | 内容 |
|---|---|---|---|
| 8月18日 | | オプショナルデイ | メジャーリーグ観戦 |
| 8月19日 | 午前 | セミナー | デザインのトレンドとアイデア |
| | 午後 | 視察 | 高級住宅訪問 |
| | 午後 | 視察 | シアトルデザインセンター |
| | 夜 | シアトル | ミニトレードショー＆レセプション |
| 8月20日 | 午前 | ポートランド行チャーターバス発車 | |
| | 午後 | 視察 | 住宅開発地区訪問 |
| | 午後 | 視察 | ポートランドストリートオブドリームズ |

日時：2002年8月19日(月)・2002年8月20日(火)
場所：ワシントン州シアトル－オレゴン州ポートランド
料金：2日間 EBPA会員－$250　一般－$275
　　1日間 EBPA会員－$150　一般－$175
オプショナルデイ：2002年8月18日
　メジャーリーグ観戦
　シアトルマリナーズvsニューヨークヤンキーズ戦
　チケット代－$26
※パッケージツアーもご用意しております。

参加申込締切り：　2002年7月19日
参加申込キャンセル：
　8月2日まで　100%返金
　8月9日まで　50%返金
　8月9日以降　返金なし

## 資料請求　FAX 申込書

詳細を御希望の方は、下記空欄に記入してFAXにて御返信下さい。EBPA日本事務所より御連絡差し上げます。

| | |
|---|---|
| フリガナ<br>氏　名 | |
| フリガナ<br>住　所　〒 | |
| TEL | FAX |

### お申込・お問い合わせ

エバグリーン 建築資材貿易振興会 日本事務所
担当　伴　宜子（バン　ノリコ）
東京都港区虎ノ門５－４－８－301
TEL：03-3459-0898　FAX：03-3459-0897
e-mail：ebpa@mue.biglobe.ne.jp　http：//www.ep.org

# Meet EBPA

今や住宅産業の中心になりつつあるリモデル（日本ではリフォーム）に観点を置き、塗装業界においてインテリアに特化したペイントを販売・施工している株式会社カラーワークス。エバグリーン建築資材貿易振興会(EBPA)の日本会員でもある同社の東京支店長の倉本正氏に、ペイント業界の動向について訊いた。（聞き手：EBPA日本事務所　伴 宜子）

**伴：**　貴社カラーワークスは、米国ベンジャミンムーアペイントの総輸入販売元として、全国に店舗を拡大しておられますが、その魅力をお聞かせ頂けますか。

**倉本：**　はい、やはり一番は色数ですね。現在のバリエーションではオリジナル色で3500色、実際には65000色の再現が可能となっています。次には環境志向が強いことです。日本の塗料でも最近「環境対応型」と呼ばれる塗料が増えてきましたが、日本の塗料成分の規制に比べ、米国では法律で規制をかける等の違いがあり、安全性の高さという面では他の追随を許していません。

**伴：**　日本の塗料メーカーの低VOC製品との具体的な違いは。

**倉本：**　まずはVOCの測定方法の違いです。日本の塗料は揮発性有化合物を常温で測定するのに対し、米国では120から130度位にまで熱して測定しています。しかしVOCの測定量は、日本の物に比べて半分以下、有害性有機物は一切入っていないという結果が出ています。また最近では授乳中のお母さん達も入院している産婦人科医院の壁を塗り替えることが可能なVOCフリーの塗料の販売も開始しました。外資系企業をはじめ、多くの企業の御指定を頂いております。一般住宅も面白いですね。

**伴：**　その一般住宅産業を取り巻く環境はここ数年で大きな変化を見せていますが、今後のマーケット事情は具体的にどのような方向へ向くとお考えですか。

**倉本：**　新築着工数が減り、建て替えあるいはリモデルのマーケットが重要視されています。具体的な変化としては、適切な維持管理とリモデルにより住宅を長く使う維持管理型、または住意識多様化による住まい手主導型、利用価値を重要視する利用価値重視型などの変化が見られます。このようなキーワードを用いて、それぞれのマーケットを分割視する必要があります。

**伴：**　リモデル市場拡大に対する塗料業界の反応と動向は。

**倉本：**　今、住宅産業は、リモデルというキーワードの元、大きな転換期を迎えています。新設住宅着工数は、少子化などの影響で2010年には100万戸を割ると言われています。しかし、リモデルにおいては、98年では6兆7千億程度の数字が出ており、2005年には10兆円産業になると見込まれています。当社が考える今後の需要としては、塗装下地用壁紙の普及です。紙壁紙に関しては、増加の傾向にあり、今後ますます市場は拡大していくと考えています。塩ビ等の壁紙は90年に比べて96年には120%の伸びを見せ、約7億3千万㎡という消費を獲得していますが、この年をピークとして壁紙の消費は下降しています。一方紙壁紙の市場状況を見ますと、90年に比べて220%の伸びを示し99年に2千6百万㎡となっています。

**伴：**　リモデル市場においての貴社の戦略をお聞かせください。

**倉本：**　今後拡大が予想される内装での塗料需要において、シェアを引き上げる要素として、当社ではインテリア関係業種とのタイアップを通じてネットワークづくりをしています。当社は従来の塗料のみでは、ユーザーのニーズに応えきれなかった部分で、例えば、ペンキ下地用クロスと塗料でテキスチャーを好むユーザーの獲得、またはファニチャーと塗料でお気に入りのライフスタイルの創造と

（7ページにつづく）


## 機能性と美を追求

ビニールクラッドのProShield®木製窓は、窓本来が持たなければならない機能と美しさを兼ね備えています。室外側は手入れが容易なビニール製の上、角ははめこみでなく、融解溶接されていて、強度は抜群です。室内側はゴージャスな天然パイン材か、白色仕上材で出来ていて、木のぬくもりと優美さに優れています。全製品、豊富なスタイルや寸法からお選びいただけるほか、弊社独自のThermoGold™ Low E²ガラスなど、お好みのカスタムオーダーにも対応できます。また、窓枠、サッシ、ガラスは20年保証付き。新築工事や増築、改装に最適です。

WEATHER SHIELD WINDOWS & DOORS SINCE 1955 ®
PROSHIELD® Windows & Doors

〒124-0006
東京都葛飾区掘切8-18-2-305
ウエザーシールド日本駐在員
戸田　正
TEL　03-3604-7840
FAX　03-3604-3500
E-メール tadsan@nyc.odn.ne.jp

（2ページよりつづく）

均等になるようにクロゼットドアに楔が使用された

クロゼットが施工されたところ

## キッチン

大きくとったオープンキッチンはダーク・チェリー仕上げのヨーロッパ調のキャビネットでまとめられている。正確な高さとカウンタートップの水平を調節するためにキャビネットは金属足に設置されている。ボックスの大きさはすべてメート法。コーナースペースを有効に使えるようにすべての角のキャビネットは特別な金物を使用した。施工した御影石のカウンタートップをすべて合わせると15.5メートルにもなった。さらにキッチンの中央には2メートルのアイランド・キッチンを設けた。設備は調理用レンジ、冷蔵庫、ディッシュワッシャーが２つ、シンクが２つとワインの貯蔵庫がある。

調整可能な足に取付けたヨーロッパ調キャビネットのシンク周辺

シンク周辺のキャビネット

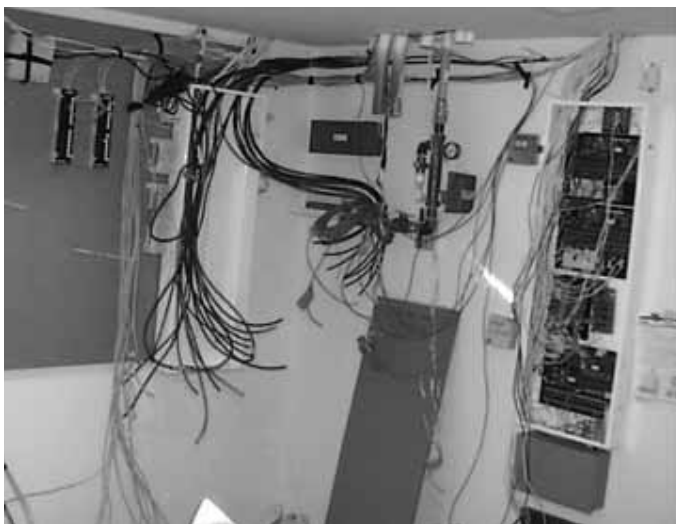
オープンキッチンのキャビネットを直線にすると15.5メートルもある

## ハイテク設備

室内全体の音響効果と高速通信回線の配線がされている。照明もコンピューター・ネットワークを通して低電圧切り替えで制御できる。各部屋の電源はメインコンピューターに接続され、プログラムされた通りに単独もしくは組み合わせによって照明を付けたり、消したりすることができる。ほとんどの照明が地下室の階段途中にある制光装置に接続されている。電気をつけたらあらかじめ設定した明るさになるように制光装置が各電源とつながっている。玄関ドアを開けて、警報装置を解除した時点で、コンピューターのプログラム通リに照明が付くようにメインコンピューターは電気とホーム・セキュリティ・システムが一体化している。外部からのハッカーによる侵入を防ぐために家の設備用のコンピュータと個人のパソコンは別になっている。

停電になってしまった場合は、天然ガスを使った2500ワットの予備発電機が自動的に作動するしくみになっている。これでは家全体の電気を供給することはできないが、ガス暖房、数箇所の照明と冷蔵庫を起動することはできる。

地下のユティリティ・ルームは室内の低電圧配線が集中している場所である。ケーブルテレビはユティリティルームのメイン・コンピューターと接続し、低電圧配線を通してコンピューターから家中に分散される。


地下のユティリティー・ルームは家の設備をコントロールする配線が集中している

電話線や高速通信回線も低電圧配線を使って家中に通され、赤外線リモコン装置によって各部屋のテレビ、ステレオ、電気などの設備を操作することができる。

この地域の建築基準法により475㎡以上の大きな住宅は緊急車などが通リにくいためスプリンクラー・システムを完備しなければならないと定められているため、この家も例外なく設置された。また、万一火事があった場合は火災警報装置が近くの消防署に連絡するよう配線されている。

カーペットやフローリングも簡単に掃除できるように掃除機システムが組み込まれている。このシステムは店で売っている掃除機よりはるかに強力である。9メートルのホースを室内の排気口に差し込んだだけで自動的に働くようなしくみになっている。

## 空調設備

３階建ての広いこの家は熱処理炉システムを２つ設けるのが最も効率がよかった。地下室にある熱処理炉システムは地下と1階部分を制御している。もうひとつの熱処理炉は屋根裏に設置され、５区域にわたって管理できるシステムなので、上階部分の各部屋の気温を調整できる。

この設備は夜間１～２時間の間、外の空気を送り込み、家中に再び新鮮な空気を循環させるようになっている。システムに組み込まれた電子フィルターが自動的に室内の空気清浄をする。

室内の空調設備は外部にある２つの熱ポンプと連結している。通常この熱ポンプが室内を暖めたり、冷やしたりする。しかし、外の温度が低すぎて、熱ポンプが室内を暖めるほどの熱を捻出できない場合は、熱処理炉が自動的に作動し、室内を希望の温度に保つことができる。この設備は94%の高率で作動しているので冷暖房はこれで充分。

室外の熱ポンプが正常に作動しない場合、地下室の大きなガス炉が１階と２階部分を温める

地下のユティリティルームにある３つの給湯器が一体化されて再循環機能を備えているので、高いエネルギー効率で熱湯がすぐにでるようになっている。このおかげで、どの洗面所もすぐ熱湯がでる。

家の後ろに設置された効率的な２つの熱ポンプが通常の冷暖房として作動する

（5ページよりつづく）
いった提案をしています。

**伴：**　当会の日々の活動においても、業界全体が今後の生き残りをかける重要なキーワードに、インテリアデザイン等のソフト面を挙げる声が高まっていると感じています。貴社の斬新な提案は、坪単価の低価格化が進む現在の厳しい業界状況において、単に安価な部材に切り替えるのでなく、ソフト面の導入により建築業者独自の商品の差別化を図る好材料となりそうですね。

**倉本：**　ハウスメーカー、デベロッパーは、例えば「デザイナーズマンション」のような、様々な切り口でいかに販売価格を引き上げ、販売率を上げるかという他社との差別化に取り組んでいます。そこで当社では、冒頭に上げた3つの変化をそれぞれのシーンで表現することを提案しています。まず、維持管理に向けての提案として、塗装仕上げ用クロスに、個々の業者のオリジナルブランドとしてベンジャミンムーアの3500色の中からマーケットに合った約40色程をチョイスすることで、環境志向とファッション性を全面に打ち出した高付加価値商品としての販売が可能となります。濃い色の上からでも薄い色が塗装でき、顧客に応じた対応が可能です。また、住意識多様化においては、住まい手が自由に素材のテイストをコントロールすることを望んでいます。大きめのテキスチャーのクロスには、1回塗装のラフなイメージ表現、2回塗装のしっかりとした色表現など、塗装の方法によっては最終表現が可能であり、アーティスティックな感性を持つ次世代のハウスオーナーに柔軟に対応できます。最後に利用価値重視では、例えば重金属、PVC、ガラス繊維等を一切含まない素材の導入です。現在塗料とのマッチングが良好とされている素材としては、木片チップ等とおりまぜたチップクロスや、エンボス処理をした紙で、環境を全面に打ち出しています。化学物質過敏症のお子様をお持ちの御家庭や、日頃住まいを最大限に利用し、少しでも子供に快適な生活を与えてやりたいというユーザーに対しても、バリエーションが豊富でファッション性の高い提案が可能となります。

**伴：**　最近特に輸入住宅業界では、内部壁を塗装するドライウォール工法の人気も高まっていますが、人材不足等の問題点もあります。しかし壁紙に塗装を施すのであれば、恐らく日本独特の市場だろうとはいえ、基本的に既存塗装業者の知識と技術をスライドできる面から、比較的簡単に導入できそうですね。今後はドライウォール仕上げと並んで成長が期待される分野となりそうですね。

**倉本：**　この室内塗料の分野において、当社は、ハード、ソフトの面からより具体的にペイントを提案することで、半製品のデメリットをメリットに転換し、インテリア業界においての塗料のポジションを確立します。リモデル産業では、日本の住宅流通が今後アメリカ型に近づいて行くとの見方が大半ですから、先行きを見据えた環境商品にファッション性を加えた「高付加価値」なリモデルはマーケットに受け入れられやすいのではないでしょうか。

**伴：**　今後も更に多岐多様に亘る消費者のニーズをいち早く掴み、商品化していくことが求められるところですね。

**倉本：**　当社では、東京・新宿のオゾンビルにオゾンカラーギャラリーというショールームを設け、消費者の情報収集をしています。あるアンケートでは、メーカー各社が今後商品を開発するにあたっての情報収集先として、「消費者直接」を第一位に挙げています。それぞれの業界が持つ生活者情報の有効活用も今後優位な地位を占めるに必要な手段です。

**伴：**　本日は大変興味深いお話をありがとうございました。


住宅建材を専門とする信頼できるホールセラー（卸し売り）会社

Western Pacific
West Pac

**ウエスタン パシフィック ビルディング マテリアルズ**

**ウエスタン パシフィック、より広いビルディングに移転！**

2,900坪の倉庫にて4,000種類以上の建材の在庫と敏速な出荷。

・大手建材メーカーから直接購入出来る会社規模と購買力
・150名の社員からなる機動力
・自社内のドア吊り込みの機械にて、敏速なプレハングドアの出荷
・日本だけでなく、アメリカ国内のホームビルダーからも厚い信頼を得ております。
・日本との取引歴も長く、お客様との信用関係を重視しております。
・日本語の話せる社員が常勤
・ホルムアルデヒドを含有しない無垢のメープルフローリングも好評売り出し中

**Western Pacific Building Materials, Inc.**
2805 N.W. 31st Avenue, Portland, Oregon 97210 USA
電話番号：アメリカ 503-224-9142・FAX番号：アメリカ 503-241-3858
Eメール: westpac@yahoo.co.jp　日本語／英語とも可

**弊社の商品カタログを御希望の方は、会社名、住所、電話番号、ファックス番号を弊社にファックス又は、Eメールにてお送り下さい。**



**使うほどに強度を実感**
**広大な森林に支えられた信頼性**

*信頼性の高さで、圧倒的に他社を凌駕するBoise Cascade社。100万ヘクタールを超える自社林の安定した供給力が、皆様のニーズに応じたエンジニアードウッド製品をお届けします。建設省認定BCI® Joists、JAS認定品のVersa-Lam®(単板積層材)など、製品も多種揃い、丈夫で床鳴のない優れた床や、歪みのない壁・天井を実現しています。25年以上、建材の第一人者としてBoise Cascade社が高く評価されてきた理由は、ここにあるのです。*

詳細はSmart Wood Inc.までお問合せ下さい。
Tel：03-5651-7221
Fax：03-5651-7220
e-mail：smartw@d2.dion.ne.jp

Boise Cascade
The Simple Framing System®

www.bcewp.com

（1ページよりつづく）

このプロジェクトには６つの工務店が参加しています。戸建住宅は3社、コンドミニアムとタウンハウスは2社、そして残りの一社がマンションを建設しています。

レッドモンド・リッジの住民は240ヘクタールにもおよぶ自然林、25キロのハイキング道、14の公園

キャム・ウェスト・ディベロップメント社が建設したタウンハウス戸建てパティオハウス。２階建て、３ベッドルーム、２バス、駐車スペース２台、庭付き146㎡～168㎡

と多目的運動場、380㎡のコミュニティー・センターに囲まれ、サイクリング、ハイキング、ピクニックなど思い思いに時間を過ごしています。開発地の60%が森林・公園・湿地帯として残される予定です。この中にはデモンストレーション用の庭も確保され、維持管理の少ない土着植物である刀状葉を持つ草を庭に植栽する方法などを教えるクラスなどがあり、家を購入してはじめてガーデニングをする人々のためのアドバイスや指導、ホームオーナーとしての心得を伝授しています。

住む人のライフステージや家族

近所との交流をはかるコミュニティーセンター

構成に対応する様々な形態の住宅を提供しているのも魅力のひとつです。戸建住宅の広さは195㎡～315㎡まであり、販売価格は$260,000から $550,000 (約33.8百万～71.5百万円)です。

３ベッドルーム、２バスの戸建住宅。販売価格$282,950（約36.8百万円）

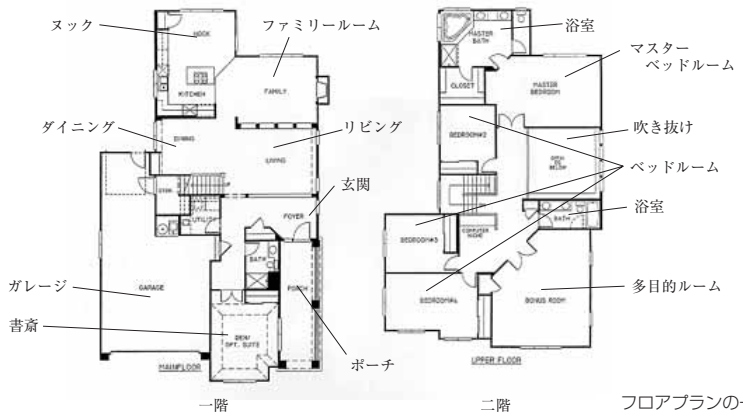
コンドミニアムの専有面積は95㎡から124㎡で、販売価格は$180,000 から$220,000（約23.4百万～28.6百万円）です。また、190㎡の３ベッドルーム・タウンハウスは$280,000から$330,000（36.4百万～42.9百万円）で販売されています。

賃貸マンションも１ベッドルーム（71㎡）から３ベッドルーム（162㎡）のタイプがあり、家賃は月額$980から$1800（127,400円から234,000円）です。

全家庭に共通なのが、光ケーブルによってインターネットとケーブルテレビに接続されています。

マレーフランクリンビルダーズが建設した戸建住宅

このほかにもレッドモンド・リッジの隣接地400ヘクタールに同じ開発業者であるクワードラント・コーポレーションによる心身ともに健康な高齢者や退職者を対象とした施設の建設を今年の終わりから開始します。こちらは950の戸建住宅や集合住宅、また、介護が必要な高齢者のための施設からゴルフ場まで完備し、高齢者が安心して、ゆとりのある生活がおくれるよう、生活環境の充実をはかったプロジェクトが完成する予定です。




フロアプランの一例

## ●完成時の開発概要●

**開発敷地面積400ヘクタール**
（内、緑地240ヘクタール、ビジネスパーク115,000㎡、小売店舗9,500㎡、コミュニティーセンター380㎡）

**建設戸数　1,772世帯**
（内、戸建住宅・コンドミニアム1,500棟、賃貸マンション272戸）

**居住人口：約5,000人**

**開発業社：クワードラント・コーポレーション（工務店6社）**


# 魅惑の木製ドア

1912年の創業以来、シンプソン社は高品質の木製ドアをデザイン、製造し、世界中のお客様に提供して参りました。

日本でも、シンプソン社のドアは、その自然な美しさと性能で高い評価を得ております。

当社の魅力あふれるドアのお問い合わせはファックスにて下記番号へご連絡ください。

**1-360-495-3295**
www.simpsondoor.com

Simpson
M·A·S·T·E·R·M·A·R·K®
HANDCRAFTED DOORS FOR THE WORLD'S FINE HOMES

（3ページよりつづく）

伊王野ゴルフクラブハウス

効な位置に躯体を構成する柱、壁が配置されます。その時点で生活空間が固定化されてしまいます。その結果私が体験したような苦労が、将来の改築で起きるのです。一寸視点を変えてみたいと思います。もし屋内に柱、壁の無い住宅の建設が可能であれば多様な空間構成が安価に実現できます。例えば、130㎡程度の住宅を４本の隅柱で建設可能な構法が存在するのか？答えは当然のことながら有りです。経済的にも充分対応出来るのではないかと思います。要するに技術的には可能であっても従来の計画、設計手法がなんとなく習慣として踏襲されている様に思えてなりません。構造上の制約から解放される住宅について考えてみることにしました。

## 日本の住宅構法の問題点

我が国の戸建住宅は多様多種の構法によって建設されていますが、その中で大きなシェアを持つ構法として木質系軸組み構法、枠組構法、及び各種プレハブ構法があります。これらの構法を比較し検証すると次ぎの３つの共通点が見出せます。

１．各々自己完結型であり互換性が少ない。

２．どの構法も構法の持つ制約、条件の中で計画しなければならないが特に平面構成、及び、開口に関し厳しい制約、条件がある。その原因として

千里ニュータウン住宅公園センター

(a)　各々の構法共、住宅は比較的小さな空間の集合によって構成されるというイメージに基づく構法計画が根底にある。前述のイメージは、最も建設実績の多い150㎡程度までの床面積の小・中規模住宅で顕著である。

(b)　上記(a)のイメージに基づく構造計画によって構造設計される構造体は比較的小さな空間を構成する目的に対応した小断面構造材によって構成されることとなる。

３．建築後に変化する生活様式、家族構成に対応することが困難、その原因として

(a)前述２－(a)　項における小断面構造材で複雑に構成される構造体は、増・改築による構造的変化への対応を予測して構成することが困難。

(b)このことから、平面的な変化対応が困難なことはもちろんだが、階数増しへの変化対応は困難となる。

## 二重構造住宅の提案

ここで云う二重構造住宅とは従来の戸建住宅構造計画手法である単一の構造システムによる住戸計画に対して大断面構造材による主構造、小断面構造材による従構造の組み合わせによって、より明解で自由な設計を目指す。

大阪千里住宅公園センターハウス

１．主構造により如何ようにでも調理可能な空間を提供する。

２．従構造により、変化する生活様式、家族構成に求められる多様な空間構成を提供する。

３．協調する主・従の二重構造により、住戸プランは自由に計画され、より快適で居住性の高い住宅の供給が期待される。

以上二重構造住宅について述べさせていただきましたが、こうした考え方は非住宅系のＲＣ造、鉄骨造、木造において一般化しているのです。中古住宅市場の育成と、30年・50年後の住宅を考える上で、改めて住宅の計画、設計のあり方についての検討の必要性を感じさせられます。

**著者略歴**
**納賀　雄嗣（のうが・ゆうじ）**

1940年満州大連生まれ。米国イエール大学及び大学院建築学科卒。建築家ポール・ルドルフ（NYC）で実務を学ぶ。1970年帰国。大栄住宅勤務。1973年一色建築事務所（東京）を設立。その間横浜国立大学、日本大学、早稲田大学で講師を務める。
2001年株式会社ノウガアンドカンパニーを設立。建設大臣賞（行徳ファミリオ）、東京都建築士事務所協会最優秀賞（筑波研究学園ゆかりの森）、栃木県知事建築最優秀賞（伊王野ゴルフクラブハウス）、石川県建築賞（北陸大学コミュニティハウス）、サミットハウス、シアトルヴィレッジ、スーパーハウス他多くの北米型住宅の設計を手掛ける。

*米国の住文化を伝える*

# トータル・インテリア・デザインなくして本物は造れない

著／吉川　みどり（インテリア・デザイナー）

日本で設計士として商業施設のデザインを手がけた後、米国に渡って10年になろうとしています。ここ５年間は米国の大手インテリア家具会社のインテリア・デザイナーとして日本のお客様にもサービスを提供しています。日本でも最近の一般消費者の自宅内でのインテリアデザインに関する知識と欲求がかなり高まっていると感じていますが、残念ながらその需要をトータルに応える人材が大手の工務店やハウスメーカーに不足しているのが現状で、私を訪ねていらっしゃることが多いです。その中で私のコンセプトはアメリカの住空間のデザインを正しく伝え、日本の空間サイズや生活様式を考えた上で調和を加えたインテリアデザインの提供することです。この経験をふまえ「―らしく」ではなく「本物」を求めている方々へのヒントに少しでもなればと願っております。

### ＜トータル・コーディネート＞

アメリカの住宅を実際に見てインテリアの美しさに感心された方も多いことでしょう。米国では私のようなインテリア・デザインナーが様々な場面で仕事の依頼を受けます。もちろん家造りの最初の段階で家具のサイズや配置、キャビネット内の小物の置き方、カーテン、壁の色調、建築部材など内装の設計からデコレーションにいたるまでの一連の提案を計画書として提出することが日常です。またこの他にもホームパーティーがあるから棚のディスプレイをきれいにして欲しいなど。どうしてそこまで？と疑問にもたれるでしょう。しかし米国では「家」がその人たちのステータスの証なのです。プロにやってもらったとしても、結果の評価は施主のものとなるわけです。美しい街並みと家のデザインに加えて室内空間をいかに美しく機能的にするかを尊重すれば、資産価値の高い住宅が生まれるわけです。

私はお客様と話をするときに「マスターデザイン」とよくいいます。それは完成図を創造しましょう、ということで　１）平面から見た家具のレイアウト、２）立面からみた壁の色、カーテンの形、絵の配置等そして３）斜めから見た各テーブルに置かれた小物のバランス等を指しています。

デザイン前　白い壁ばかりが強調されていました

デザイン後　色、小物でバランスがとれた空間

日本ではトータルデザインの歴史、教育や習慣がないために輸入住宅の外見と室内に入ったときのギャップが大きく、海外で生活をされていた施主も「やっぱり米国の家とはちがう」と飽きてしまいます。

### ＜白＝広く見える　は単純すぎる＞

全体図が見えてきた段階でお客様は具体的な注文をだしてきます。「部屋が狭いか

（10ページにつづく）

（9ページよりつづく）

ら明るい色がいい」とよく言われます。確かに白＝広く見えるというイメージなのですが、すべてが白ではまるで病室のようです。重要なのはバランスで、全体の比率に対して白が多ければ全体が明るく見えます。そこで壁に色をつけて白をより目立たせる効果をだすように工夫しています。例えばソファーが白ではよごれが目立ってしまって、すぐ使い物にならないので、少し濃めの色をもってきます。

また、面も忘れてはなりません。目先のものにたくさん白っぽいものを使用します。カーテンでも縁取りには色を使用してまわり壁へソファーの色に合わせます。絵なども明るいイメージのものを選び、少し目先の下がるテーブルの上の小物たちは、明るいものと濃いものとをミックスしていきます。濃いから狭く見えるのではなく、あくまで空間のバランスなのです。

## ＜小物の置き方＞

アメリカ人の小物の置き方、並べ方に感心させられるときが多々あります。食器棚をひとつとっても日本と米国の生活習慣のちがいをはっきり感じます。日本ではお皿を重ねてあくまで収納という考え方ですが、米国では見せることが前提ですから、しっかりと見せ方を考えて、表現するのが当然なのです。

大きな絵を置いた場合

横に低い山を作った場合

中心に山を作った場合

ここで美しく小物を並べたいときは２つのことを頭にいれておくとよいでしょう。ひとつめは日本の活花に似ていますが、基本として山をつくることを心がけること。そして２つめのキーワードは奇数です。物の数を奇数でまとめるのが美しく見せるポイントです。実際にテーブルの上の小物で実例（右）をお見せします。

## ＜カーテンのデザイン＞

米国住宅の魅力でもある美しい窓を引き立たせるカーテンも多くのバリエーションがあります。何百種類のちがったカーテンのデザインはまるで洋裁のようです。どのようにギャザーをとるかによって布の表情は変わってきます。布の特質を知って、硬い布、柔らかい布、ふちどり、重ね縫い、ふさふさをつけたいなど、無限に広がりを見せます。この点も日米の文化の大きな違いを感じています。日本に帰る度に展示場をのぞいていますが、カーテンのデザインは米国に比べてとても遅れていることを痛感します。ペラッとした感じの素材や天井高・窓の高さのバランスに合っていないのです。

窓のサイズにカーテンを合わせる必要は全くないのです。日本では窓に合わせてカーテンのサイズを合わせています。米国では窓、部屋全体を大きく見せるために、やや窓より高く、長さは床までデザインすることがあります。このように同じ窓でもカーテンによってちがう表情が生まれてきます。

日本で見かける典型的なデザイン

米国のパターンのひとつ

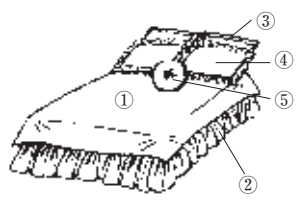
## ＜米国のマスターベッドルーム＞

アメリカでは力をいれてデザインする順番があります。

**１．リビングルーム　２．ダイニングルーム　３．マスターベッドルーム**
**４．ファミリールーム　５．子供、ゲストルーム他**

上記のマスターベッドルームの中のマスターベッドも表現の１つです。弊社のショールームを訪れて、大小さまざまなクッションがディスプレイされたベッドを購入したもののベッドメーキングの仕方を知らなくては、イメージとあまりにかけ離れてしまいます。最低下記の５セットが基本です。

① カバー　② スカート　③ ユローシャム（60cm角位）　④ ピローケース（但し眠るときは使用しない。）　⑤ アクセントピロー




では眠るときの枕は？④のピローケースに入れて眠るときに中から出すか③のコローシャムの後方に隠して起きます。つまり、基本的にこれは見せるためであって使用するためではないのです。枕以外の飾りやシャムやアクセントピローは値段もはってきます。数の多さはやはりその人のステイタスのひとつの証となってくれるわけです。全員がそうではありませんが、一般的にどんなお宅へ行っても最低５つのクッションがあります。

## ＜インテリア・デザインナーという仕事＞

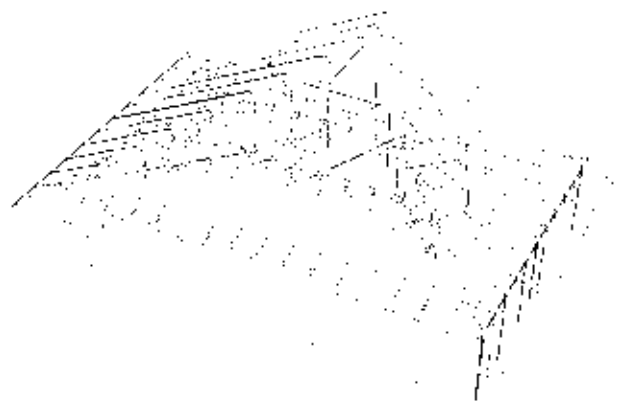
この仕事に携わるようになって日本のホテルや商業施設ではレベルの高いトータルインテリアデザインが実現されているが、一般住宅をみるとまだまだ個人の趣味を部分的に取り入れた段階で終始していると思います。

米国ではお客様と会って、まず建築サイドがまだはっきり確定していない状態（窓、外壁を含まない壁などが移動できる段階）で、設計図を直していきます。そしてお客様のライフスタイルを把握して、それに沿って家具の位置や空間をまとめてきます。例えば大型のテレビをお持ちなら大きな壁が必要で、窓だらけの部屋では無理ですので、窓の移動やキャンセルが可能な段階の打ち合わせが不可欠になるわけです。今、お持ちのものをリストに書き出していただき、お客様の意向やこだわりが必ずあるので聞きます。旅先で買った絵や代々受け継いだ壷を置きたい、また、趣味でステンドガラスを作っているなど、細かく聞き出して、それらに合うものを提案していきます。

トイレ、バスタブ、タイル、キッチン、床、モールディングなど家の内側にでてくる素材すべて、お客様のライフスタイルに合わせて提案しています。きれいな家はお金をだせばいくらでも造れますが、住みやすい家はいかにデザイナーがしっかりお客様の生活パターンを把握、または説明・納得させられるデザインをすることだと思います。

雑誌でいくら勉強しても、あるいは米国に2−3日滞在しただけでは米国の住文化を吸収することは不可能です。私が見て、感じてきたことを伝えるために今後のライフワークとしてトータル・コーディネートをビジネスとして組織化し、この分野において幅広い人材を育成していく、つまりソフトの部分を提供することが私の夢です。日本は「衣食住」の中で「衣食」を優先しすぎたのでしょうか。しかし、洋風文化を好む世代が増える中、日本も「住」に目を向け、美しく、住みやすい家が増えてくれることを願っております。

**ウェアーハウザー・トラスシステム**
**在来工法／ツーバイフォー工法に対応**



**性能化時代の小屋組みシステム**
**Windows 95/98/NT/ME/2000対応トラスソフト**
**改正基準法に適応**
**現場ゴミゼロ化／工期短縮**
**公庫スパン表に掲載されているトラスシステム**

トラス設計・販売に関するお問い合わせは、

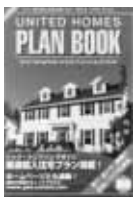
| | | | |
|---|---|---|---|
| 松本建工株式会社 | 011-751-4590 | 大平住宅株式会社 | 0298-33-2400 |
| 株式会社箱崎 | 01584-2-2883 | 倉井木材建設株式会社 | 0285-25-1011 |
| 株式会社ランバーテック | 048-433-0333 | トリスミ集成材株式会社 | 07442-8-1606 |
| ウイング(株) | 047-450-2424 | | |

システムに関するお問い合わせは、
ウェアーハウザー・ジャパン株式会社（日本木質トラス協議会会員）
担当：村上
〒107-8667　東京都港区北青山1-2-3
TEL：03-5474-6748
FAX：03-3402-4869
Weyerhaeuser

# ビルダー側のプラン提示型から顧客側のプラン提案型へ

## ＝プランブックを使った新しい顧客獲得の道＝

ユナイテッドホームズインターナショナル社（千葉市、大澤成行社長）は、米国のアームストロング社と提携し、「アームシステム」の供給システムを確立、米国式プランブックの活用とインターネットによる集客手法を組み合わせ、内外の一流設計者のプランによる本格輸入住宅を提供している。2000年末には、同システムでは第1棟目となる千葉市の現場見学会、セミナーが開かれた。




### アメリカのプランブックを使った住宅の建築プロセス

アメリカでは、一般的に注文住宅（カスタムハウス）を建てる場合、まず最初にプランブックというものを使う。プランブックは、書店やキヨスクなど色んな所で販売されていて、アメリカでは大変人気のある読み物だ。これらの中から、自分の好きなプランを選び出し、設計士やそのようなプランを販売する会社に委託、またはプランを購入する。通常、仕様や設計に関する全ての情報が入った図面が販売されている。購入者は、それを各ビルダー数社の元へ持ち込み、各ビルダーは、その図面の同じ仕様を元に見積書を作成する。

日本の場合、合い見積と称しながら、実際は、3LDK、4LDKあるいは家族構成のみの条件を与えられて見積もりをするので、出来上がったプランは各社とも仕様、間取りも構造体もバラバラとなりやすく、合い見積もりをしているようで実はしていない。結局は営業マンの人柄や値段のみに左右され、本来ビルダーが勝負できるものでないところで受注が決まってしまうことがある。

このプランブックを使用することで、真の合い見積の上、デザイナーズブランドの住宅を供給する事が出来る。日本では、あまりデザイナーズブランドというものはないが、プランブックには、過去多くの住宅デザインを手掛け、耐久性や資産価値をもった住宅をデザインしてきたデザイナーのプランが沢山載っている。その中では、各ホームビルダーの名前ではなくて、デザイナーの名前で建物が建てられる。

プランブックを使用する利点を挙げると、ひとつには、ビルダーと施主が一体となって建築に携われるところにある。通常ビルダーが提示するプランでは、ビルダーがある程度選択したものの中からしか選べないが、プランブックであれば、施主が選んだものを中心にビルダーと一緒に考えて行くことができる。ビルダーにとっては、設計力ではなく、本来の施工力で勝負することが出来る。また営業マンにとっては、多くのプランブックに目を通す事により、知識の幅が増え優れたデザインを見分ける事が出来るようになり、お客様がどのようなデザインを希望しているのかということを、プランブックという形で常時いつでも確認してみる事が出来る。

### プランブックを用いて実際に施工を行う方法

同社のインターネットサイトへ入ると、3000プラン程のプランが検索できる。サイトやプランブックから御客様が好きなプランを検索し、選択していく。そしてビルダーが見積を出す際、同社が見積もりのサポートをする。図面からの輸入部材の拾いと見積、それから建物全体の見積から資金計画までのサポートをするのが同社の提供するアームシステムだ。そして契約後の施工では、工務店が前もって受けておいたアームシステムによる施工研修のとおりに施工をしていく。

アームシステムでは、豊かなアメリカンデザインを実現することができる。現在でも日本では入手できない部材調達も可能なばかりか、プランブックの中のプランをそのまま再現できる。それに加え、日本の通常の輸入住宅建築コストから約100万円のコスト削減が可能で、工期短縮も可能であるという。工期も完全2×4パネル化により、上棟まで通常20日間かかるものが、アームシステムであればたったの4日間で可能となり、その後60日程で引渡しが可能となる。また、充実のサポート体制を整えており、各種実務、営業、設計研修等が開催されている。国内調達の部分を除いて、輸入部材はアームシステムが一括手配・調達する。部材の出荷前に全ての部材を点検し、それによりクレームの窓口も一点に絞る事ができる。更にこのアームシステムは、フランチャイズではないので、アームシステム研修に参加する以外の加盟料が一切かからない。

TJI二階床システム

実例では、千葉県でのモデルハウスで、全体28.48坪、全て日本で手配した場合、実行原価が1,150万円、アームシステムを利用した場合で1,065万円と85万円の差額が出ている。そこに販売価格として25%の荒利を載せるなどして、最終的には100万円以上の差額が出ている。坪単価としては、同じ建物を作って、アームシステムが49,6000円のところ、日本では53,8000円となった。

### セミナー会場では、同社大澤社長が輸入住宅に対する熱意を語った。

「プランブックを使った営業がどういうものかというと、住宅の価値ということに尽きると思います。通常の人々は、自分の家が価値のあるものだと考えています。建築家の方も自分の設計した、建築した家に価値があるものだと思っています。しかし当社が考える住宅の価値というのは、再販価値にあると考えます。市場で次に売る時に、一体幾らで売れるのか、2千万円で買ったものが2千万円で売れるのか、5年後～20年後価値を持ち続けて高く売れるのか、そんな中でひとつ普遍性のある美しいデザインというのは、プランブックを使った住宅の建築方法だと思います。プランブックを使う事が、高い価値をもった住宅をお客様へ提供できる方法であり、それが輸入住宅を建築するメリットだと考えています。これからのビルダーがどういったものを武器にしていくべきか、自分の中のビルダーとしての存在価値を探るといった意味で、セミナー参加者の皆様に良い輸入住宅の建築方法を取得してもらいたいと思います。」

（取材：EBPA　伴）

屋根妻壁

---

## 作品紹介

# 「アメリカ住宅建築への夢」

## 「美しいデザインとゆとりある空間の住環境」を提供

輸入住宅・バリアフリー協同組合
理事長　込堂　芳夫氏

輸入住宅・バリアフリー協同組合は、建築会社５社と一級建築事務所２社の建築経験豊な７社が集まりスタートしました。

1999年4月北海道知事から協同組合の認可がおり、21世紀へ向かって挑戦がはじまりました。

アメリカの住宅文化を勉強するために３回渡米しました。はたして、アメリカの家が北海道にマッチし、消費者の心をつかむことができるかを頭で何度もイメージしました。答えは「イエス」でした。

200年に完成したモデルハウスは米国の住宅そのもの

アメリカの家はデザインが美しく存在感がありました。天井が高く広い室内には、一体感と開放感があります。しきりの無い広い室内とフラットな床は、バリアフリーそのもの、高齢

（12ページにつづく）

者にも身障者にも快適な生活環境が整っていました。住む人に感動を与える、美しさを追求した家づくりがなされている事でした。

また、アメリカの家には「歴史」がありました。200年以上にわたり家づくりの技術として引き継がれている2×6建築工法は、アメリカの技術です。アメリカの家は木をふんだんに使用しているため、地震に強く50～60年は保つのは常識です。日本の様に30年で壊したりはしません。「物と長くつき合う」家づくりがなされているため歴史の重みを感じ、年代を積み重ねる程「だんだん味が出てくる家」になります。

この家を北海道の人々に知っていただくために、モデルハウスを建てる計画に入りました。

設計はアメリカの設計士に依頼。アメリカの大工さんの指導のもとで、組合員が一丸となって取り組みました。基礎と屋根以外はすべてアメリカ部材を直輸入し、3ヶ月かかり「アメリカの家」とまったく同じモデルハウスが、2000年7月に完成しました。

昨年一年間で650組・1500名以上の人々が訪れました。来訪客は日本の家と米国の家の違いに驚きます。開放感のある居間は家族団らんの暖かい雰囲気を来訪者に与えました。３歳の障害児を持つ両親は「この家は障害児がいても暗さを感じさせない家だ」と言って帰り、高齢者の夫婦は「この家は落ち着くこんな家に住んだら長生きができる」と言って帰りました。

オープンデザインの室内

モデルハウスを通して、確実にアメリカの住宅文化の波紋が広がりを見せています。お客様から「ナンバーワンよりオンリーワン」言われる組合をめざしています。

## モデルハウスのコンセプト

当組合はアメリカの住宅文化の普及が目標ですので、外観も室内も完璧なアメリカ仕様です。

見て、ふれて、アメリカを感じていただく為の「本物のアメリカの家」を建てました。

映画にでてくるような浴室とシャワー室

設計はアメリカの設計士に依頼。シアトルのサプライヤーがモデルハウスの１棟分の材料をコンソリデータをし、施工指導のためアメリカ人のフレーマーを派遣し、そのフレーマーの指導のもと、アメリカの建築方式でモデルハウスを建てました。アメリカのフレーマーには感性がありました。美しい家をつくる事にこだわりを持ち、手間がかかる仕事も進んで取り組んだ姿が印象的でした。

### 建築工程とアメリカの仕様

2×6工法で施工
基礎幅150mm・床高700mm・外壁厚さ150mm
天井の高さは2700mm・
19mmのプライウッドの上に19mmの無垢フロアー
Low-E格子入りペアガラス・高気密性のグラスウール

### （仕様・メーカー）

- ●フィートモジュール設計・2×6工法で施工
- ●TJIを使い防音効果を高め
- ●床はロビンス製
- ●階段はLJスミス製
- ●暖房セントラル・システムはキャリアー製
- ●窓はミルガード製
- ●断熱のグラスウールはオーエンス製
- ●インテリアドア玄関ドアはシンプソン製
- ●幅木モールディングはサウダー製
- ●システムキッチンはダイアモンド製
- ●ガレージドアはホームズ製
- ●ブリックはエルドラド製
- ●トイレはコーラー製
- ●蛇口はデルタ製
- ●ドア金物はタイタン製
- ●暖炉はマジェスティツク社
- ●室内はすべてペイント仕上げ
- ●外壁・室内を塗るペイントはアメリカから輸入

基礎と屋根以外はすべてアメリカから輸入しモデルハウスを建てました。

アメリカの大工さんの指導のもとで、2×6工法で家造り。
TJIサイレントフロアー組み立て方と梁の掛け方。
玄関・窓・インテリアドア・階段・システムキッチン・室内モールディング・ガレージドアの取付方法を学びました。
床・外壁サイディングのはり方もすべてアメリカ方式を採用し仕上げました。

### 作　品　募　集

建築家・工務店・ビルダーの方々の作品を本紙で紹介させてください！
上記のように皆様のご自慢の住宅に関する資料（内外の施工写真、敷地・および床面積、平面図、仕上げ表、設計概要など）をお送りください。
Ｐ.15の申込書をご記入の上ＦＡＸにて返信ください。

# アメリカ本格2×4工法をパネル化工法で高規格構造の実現と、コストダウンへの近道

著／岡　敬三（ファーウエストホームズ）

## 日米の施工費ギャップは、施工法の差に

アメリカ住宅ビジネスの視察にワシントン州を訪問された方も多いだろう。シアトル国際空港近くにもニュータウンがあるので、町づくりや一般的な建売り住宅の実状も見学できる。そこで、設備が整い品質も高い建売り住宅が坪30万円かそれ以下で建築できていることを教えられ、ため息をつかれた方も少なくないはずだ。しかし、仮にそれと同じ仕様で建材を輸入しても、同じ工事単価で仕上げるのは困難である。多くの方は、この日米の施工単価ギャップを少しでも埋め合わせようと努力されていると思うが、実は、安い部材や建材を探しまわっても、それだけでは本当のコストダウンには結びつかないのでもある。

工事費をアメリカと同レベルまで下げるのは現実問題として厳しい。日本の法規定もあるし、国内調達もあるからアメリカと同じというわけにはいかない。しかし、現状を大幅に改善できる余地は十分ある。それには、安い部材・建材を探すこと以上に、工事のやり方そのものを洗い直すのが近道だと知っていただきたいのである。材料のコスト差よりも、工事をすすめる総合的な施工システムの違いにコストギャップの大半が隠されているからなのだ。そこに注目して欲しい。一般に、輸入住宅で工事費全体に輸入部分が占める割合は25%前後といわれる。つまり、全体の75%は国内の工事費用であり、現場のコストである。25%の輸入部材や部品単価をいじってもそう大きな削減にはなりにくい。それよりも合理化があまり進んでいない現場施工内容を真剣に洗い直したいのである。

## “アメリカ”２×4工法は合理化で最先端

アメリカの2×4工法（本来2×4はそれしかないはず！）は、きわめて合理的で、部材も共通で、その構造も規格化されており、当然組み方にも基準がある。部材のサイズも住宅の間取りや天井高とぴったり合うようにあらかじめ作られているので、無駄のないシステムになっている。ところが現実の輸入住宅の設計や施工内容を拝見すると、この有利な条件を活用していない例も少なくないように感じる。では、どうすれば施工の生産性を上げて行けるだろうか。

パネル工法による建て込み

**第１：工程数を減らす。**

**第２：１工程をこなすための人工数を減らす。**
**第３：部材、部品種類を減らす。**
**第４：現場スタッフの作業生産性を高める。**

建築現場ではこれまであまり生産性改善が配慮されてなかった側面もあった。アメリカ2×4建築はこの点でかなり合理化が進んでいる。それを参考にしていただきたい。

結論的にいえば、施工の合理化を進めるには、アメリカ2×4工法をそのまま取入れるのが早道だと思う。そして、手っ取り早く実現できるのが、〈2×4パネル工法〉での輸入住宅建築である。

## 無理、無駄のない施工法を

構造（床組、壁の枠組み、小屋組み）をアメリカ2×4に忠実に組む。これが重要である。その意味は２つある。

第１、2×4住宅の多くは（大手2×4住宅メーカーも含めて）実は2×4構造になっていない。いわゆる「在来ツーバイ」であって、それは2×4部材を使用して在来工法の軸組構造に近い組み方で建築している。（スタッドの違い：「在来ツーバイとアメリカ2×4の壁構造の比較：アメリカは例外なく406mmo.cでスタッドを入れる。開口部上部のまぐさ受けも積層材で完全補強する。」）アメリカの2×4構造をご存知ない方も多いので、それらが2×4構造でないことにも気付かれていないようである。設計事務所さんも同様である。そのために、構造が複雑だったり、変則的な構成が加わったり工程、施工時間も増え、構造強度も低くなる。本来の2×4は施工スピードは速く強度もはるかに高い。それを知るためにはパネル工法で本来の構造や部材の使い方を知る必要がある。アメリカ2×4の構造部材の使用量は在来ツーバイに較べ30～40%も多い。それでいてコストは低くできるのである。

第2、構造だけでなくアメリカの建て方、工事の仕方を極力踏襲していきたい。それが労働生産性を高め、施工期間を大幅に短縮し、結果的に工事費全体の圧縮につながっていく。どれくらいスピードアップできるかといえば、木工事開始から完工まで延べ40坪の2階建てで50日程度で可能である。それにはそれなりの設計、構造、そして施工方法を守らねばならない。

ここで取り上げる目標は、

**１．２×4構造に適ったシンプルな構成に。**
**２．２×4枠組みは標準規格をを守り例外を作らない。**
**３．現場での変更・追加をなくす。**
**４．無意味で割高な構造を排除する。**

つまり、無理と無駄をなくし、熟練工でなくても精度と施工スピードが高まる内容をあらかじめ用意していくことが大切なのだ。以下に具体例を取り上げながら説明したい。

**１．コストダウンは設計方針から**

まず、設計開始にあたって、シンプルで強度の高い構造が施工費用を低減する基本だと知って欲しい。平面プラン段階で、床根太を東西方向又は南北方向に通すかを基礎伏せから小屋組みの関係で、立体的に方針決定する。１階と２階の壁構造が脈略ないまま決めたりするのも避けたい。１階に大きな空間がありその上に間仕切りの多い２階が乗ってくる…無理があることに気付くとプランを再考するのでなく「じゃ、柱を立てて補強すればいい。梁も通せ」など、よくある例である。「できないことはないはずだ」と叱られたりもする。もちろん可能である。ただし、その分相当なコストが加算されていく。そのコストを「柱と梁分（材料代）だけだろう」と言われたりするが、そうではない。現場ではそのために余分な工程と何人工かが目に見えない形で生じている。しかも、強度は確実に低下する。低コスト・高品質住宅実現のためには、そういう在来風の柱や梁は原則なくすことが基本である。

**２．天井高の意味**

高価格住宅でなくても、室内の天井高に変化を取り入れるプランが多い。個性の表現と空間の変化のために有効だと思う。しかしそれは、高コストの大きな原因と承知して採用すべきである。アメリカ2×4住宅では、パネル高は2467mmを標準にしているが、それには重要な意味がある。日本のコンパネは周知のようにサブロク（3×6）、それに対してアメリカはシハチ（4×8フィート）。つまり、壁パネル高を１枚のコンパネ長でカバーできるようになっている。構造材の2×4の規格サイズもそれに合わせている。だから、8フィートを超える天井高に設計すると、部材が割高になるだけでなく、外壁下地、内壁下地を張る手間数が２倍以上に増加する。残念ながら日本の天井高は６尺でもその倍数でもないので、石膏ボードや構造合板を切ってそろえることに現場が慣れすぎているように感じる。それだけではない、ベッドルームなど部屋の大きさも4フィートを基準にしてその倍数で平面プランを決めることも多い。つまり、材料代だけでなく、いかに現場の施工をシンプルにして生産性を高めるかを前提に決めているのである。

**３．基礎も30%節約できる**

軸組工法では、外壁だけでなく、間仕切り壁も梁と柱がある部分は当然布基礎をまわさなければ重量を支えられない。しかし、プラットフォーム（床組み）を作る2×4では、かならずしもそれは必要ない。耐力壁を設定して、その部分のみ布基礎を回し、あとは大きな根太を渡して基礎を簡略化するのが通例である。こうして布基礎メーター数が大幅に減らせる。ファーウェスト社の場合、5m（3間）くらいなら大引けの補強はせず、束立てもしない。そのかわり、2×10，２×12という大きな根太を通してシンプル構成にする。部材石高増よりも施工手間削減の方が総コストでは有利で強度も高くなるからだ。

日本では、その床組でも工程数を増やし複雑にしている例がある。

日本の2×4住宅の床組をみると、根太は2×6が大半のである。その強度不足をカバーするために4×4の大引けを渡して支える。その大引けをさらに束で補強する。アメリカの床組に対して3倍の複雑な組合せで床を構成している。ここに在来ツーバイの問題があるように思う。

日本では、伝統的に「コストダウンは材料を節約する」、「規格の小さなものを使う」と考えるからではなかろうか。それでいて、大引け、束立てなど別材料を加え、さらに複雑な工程を組み合わせることで、人工数も工程数を増やしてしまう習慣がある。

その原因には、下請けによる請負制度が影響していると思われるが、その請負い内容が「坪当たりいくら」の施工単価をはじく方式から脱却できないからである。それに対して、１時間当たりいくらの仕事かを決めて、


# FARWEST HOMES

**米西海岸全域、アラスカ、そして日本向けにパネル工法2x4住宅をお届けしているもっとも経験豊かな企業です。創業52年、日本とのおつき合いも1976年以来26年になります。この間、北海道から九州まで、また、都市の小住宅から海抜1500mのスキーリゾートのプチ・ホテルまで、あらゆる気象条件、バラエティ豊かな建物を担当してきました。お気軽にご相談ください。**

＊ 本社工場、倉庫は30,000m$^3$以上です。常時複数ラインで並行作業できるほか、豊富な部材をストックしています。
＊ もっとも早くからパネル工法を使用、本社工場製作により現場に直送するなど、工期短縮のシステムを完成しています。
＊ 日本語による詳細仕様書、現場施工マニュアルも完備し現場指導もします。（別途）
＊ 打ち合わせはすべて日本語だけです。横浜事務所にお問い合わせください。

**本社: Farwest Homes**
PO Box 480, Chehalis, WA 98531
Tel: (360)748-3351 • Fax: (360)748-6443
email: jfolger@farwesthomes.com • website: www.farwesthomes.com

**横浜事務所: （株）アビタ**
〒222-0003 神奈川県横浜市港北区大曽根 2-13-6
Tel / Fax: 045-533-2451 • E-mail: k.oka@mx7.ttcn.ne.jp

**創業52年、日本輸出　実績1976年から**

*Farwest Homes*
Since 1947

延べ何時間人工でできる工事内容かを測る方式になれば施工内容を合理化するほど、施工費用合計は下がっていく。またそうしなければ競争に勝てない。アメリカの施工費用が低いのはこうした努力と仕組みを築いてきているからなのである。内部仕上げなどでも合理的な材料と施工法が続々開発されているから合理化の課題はいくらでもある。
最近、直面した事例をご紹介しよう。

2×4の小屋組みには、エンジニアトラス（あらかじめ工場で組み立て済みの小屋組みフレーム）工法と、日本と同様の垂木工法がある。エンジニアトラスで見積書を提出したところ、棟ハリ＋垂木よりも高い（約４万円）と指摘を受けた。確かに見積書ではそうである。しかし、現場での小屋組工程では逆転し、20坪の小屋組みなら、エンジニアトラス利用なら半日程度の組立で小屋組はできあがる。一方、2×10の垂木を一本づつ架けていくと２～３日かかってしまう。つまり、現場のコストは４倍も違うので、総合すれば、エンジニアトラスの方が大幅に合理化できるという訳だ。しかし、「部材の見積書」比較だけに眼を奪われるとそこを見誤ったりもするのである。

エンジニアトラスの取り付け

このような、上質なアメリカ2×4の構造を採用し、施工方法でも合理化を極めた建築法として、アメリカではパネル工法が普及している。日本でこの高規格な2×4構造を実現し、同時に、アメリカの合理化された施工法でコストダウンを図るのは、このパネル工法での部材輸入が最短距離なのである。

しかも、日米協定で、窓や床材など部材・建材だけ輸入するときには数%の関税がかかるが、パネル方式で住宅一式輸入の場合は関税は無税になる。それだけで一戸あたり数十万円のコストダウンの特典もついているのである。

お問い合わせは前ページ広告の横浜事務所まで。

*プロフィール*

**ファーウェスト　ホームズ**

創業1947年。木材、建築材料をはじめドア工場、キッチンキャビネット工場など巾広く扱っているウェストコースト・ミルズ社のパネル工法建築事業部門。1947年から50年以上もパネル化工法を手がけてきているワシントン州でもっとも経験の豊かなパネル工法での2×4構造メーカーで、ワシントン州をはじめカリフォルニア、オレゴン、など西部12州をはじめアラスカ、アジアにも輸出。日本には1976年2×4導入当初から輸出を続けている。

## 住宅建材セミナー開催
# 「健康住宅と　アメリカ住宅建築事情」

### 6月3日（月）～7日（金）
### 水戸、前橋、甲府、名古屋、奈良（予定）

住宅建材セミナーはワシントン州政府が主催するプログラムの一環としてタイムリーな情報をお届けしています。1999年11月からは特に「健康住宅」に焦点をあて、全国25都市で同セミナーを開催してきました。「健康住宅」をテーマにしたシリーズは今回で最後となります。まだ聴講されていない方は、是非この機会にご参加ください。

「健康住宅」、「シックハウス症候群」などと騒がれてから数年たち、消費者の求める住宅の条件として「健康住宅」なくしては語れなくなりました。日本でもようやく法規制にのりだしましたが、米国では20年程前からこの問題に着目し、住む人の健康だけでなく建材から化学物質を排除しようという動きがあります。身体に害がなく、且つ住宅に高級感を創り出す様々な仕上げ材・工法、米国の住宅に関する動向・最新情報や製品について州内の企業（８社～10社予定）がご紹介します。

基調講演には米国の住宅でクロス仕上げの代わりによく見られるドライウォールについてのプレゼンテーションがあります。ドライウォールと塗装仕上げの組み合わせの利点としてビニールクロスの張替えの手間が省ける、廃材やダイオキシンを考えた場合に環境にやさしい、デザイン性の豊かさ、壁に傷を付けてしまっても部分的補修ですむ、施主が好みの色に塗り替えることができるなど、たくさんあります。日本でも主流になるであろうドライウォール仕上げの正しい施工を工程ごとにご説明いたします。

アームストロング・ビルディング・コンポーネンツ酒井氏による基調講演

基調講演のほかに各企業が米国の最新情報や製品をご紹介します。参加企業はドア、窓、キャビネット、石材、SIPパネルなどの各メーカーをはじめハウスメーカーやコンソリデータなど様々な角度から米国の建材をご紹介しています。また、ミニ展示会の時間を設け、会場後方に各社がサンプルやカタログの展示も行いますので、気軽に担当者と交流をしたり、商品を実際に手にとってご覧いただけます。また、特定企業との個別商談会を事前にお申し込みいただければ、こちらで時間を設定して、ゆっくり商談できるよう段取りをとらせていただきます。

ミニ展示会にて

住宅市場の低迷の中、輸入住宅と輸入建材が健闘している理由が見つかるにちがいありません。工務店、設計、リフォームやインテリアデザイン業界の皆様のご参加をお待ちしています。参加費は無料。お申込書の送付をご希望の方は15ページの資料請求申込書をご返信ください。

次回（９月予定）からは新しいテーマで皆様にお会いできることを楽しみにしています。

色彩が決め手！

洗練された色彩計画はあなたの会社や製品の個性を引き立てます。弊社は色彩設計や美観に優れた地域社会の創造、多様性、個性において、アメリカのトレンドの最先端にいます。

ザ・カラーピープル
建築カラーリスト
www.colorpeople.com

# Classifieds 告知欄
＜クラシファイド＞

**クラシファイドは読者の皆様同士の交流をはかるページとしてはじまりました。人材・代理店募集、モデルハウスのオープン、イベントやセミナーの開催、ホームページの開設、取扱商品以外の建材や工具を売ります・譲ります等々ー情報提供をお待ちしております。**

買付けツアー、企業視察の相談は日本語で。
J.D. Cook Travel/新井　和雄　jdcooktravel@msn.com
Fax: (米国)206-447-2667

次号（11月発行予定）のクラシファイドに掲載をご希望される方はワシントン州政府日本事務所までお申し込み下さい。

# ワシントン州政府が発行する書籍一覧

ワシントン州政府では米国の工法や建材のご理解をいっそう深めていただき、皆様の事業に役立てていただくために下記の出版物をご用意しています。ご希望の方は下の資料請求申込書をご記入ください。

### 「在来工法のための輸入窓・ドア 発注から、取付け・仕上げまで」

**木造軸組工法における輸入窓とドアの発注・取付け・仕上げ方マニュアル**

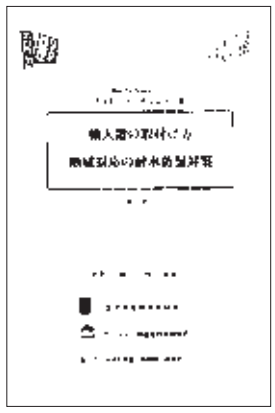
今まではツーバイフォー住宅に取付ける輸入窓・ドアという前提でしたが、そのデザイン、性能、価格面等から日本の消費者の人気を集める中で、在来工法でも輸入建材が比較的容易にご使用いただけることをセミナーで実践し、イラストや写真でわかりやすくテキストにまとめました。

### 「枠組作業と建設初期段階の大工仕事」

**北米式ツーバイフォー工法に関心のある方々のための躯体工事マニュアル**

フレーマー（枠組を専門に行う大工）のための基本的なテキストを探していた著者スコット・シンプソンが25年以上にわたる自らの経験を元に専門用語の意味からフレーマーの管理方法にいたるまでわかりやすく説明しています。

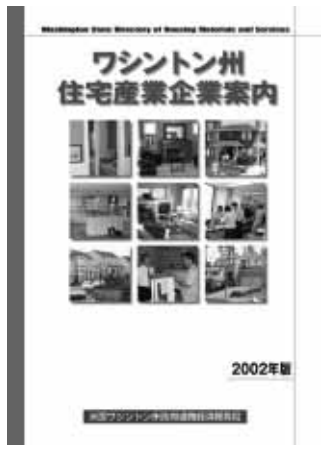
### 「輸入窓の取付け方：地域対応の耐水防湿対策」



**ツーバイフォー工法における輸入窓の取付けに関する技術的詳細を含んだマニュアル**

日本の気候に適した窓の種類や保管方法及び輸入窓の正しい取付け方が詳細に記載された資料です。全米窓・ドア生産者協会（WDMA）による検査基準に関するスライドも含まれています。

### 「ワシントン州住宅産業企業案内」2002年版無料頒布




**対日輸出経験の豊富な73企業を掲載した2002年版ができました。**

各企業の住所やファックスの連絡先（日本での連絡先も含む）、Eメールアやホームページのアドレスも多く記載されています。主要製品・業務以外にもひとこと欄では各企業がPRをしています。また、索引は業種別、アルファベット順など様々な方法で引く事ができますので、お捜しの企業が一目でわかります。
州政府のホームページでもご覧になれます。
www.trade.wa.gov/jpn_housing/

---

ワシントン州政府日本事務所

# 活動スケジュール

〈2002年3月5日〜3月8日〉
建築・建材展2002
東京国際展示場（有明：東京ビックサイト）　州内及びEBPA会員企業と一緒に12ブース出展。出展企業はエルドラド・ストーン、キャスケード・コンポーネンツ、ドアクラフト・ジャパン、プレミア・ビルディング・システムズ、リンダル・シーダー・ホームズ。ワシントン州政府／EBPAブース内にスタイル・ソリューションズ他がカタログやサンプルを展示。主催：日本経済新聞社

〈3月14日〜3月17日〉
西日本トータル・リビング・ショー
西日本総合展示場新館　州内及びＥＢＰＡ会員企業と一緒に出展。出展企業はエルドラド・ストーン、スタイル・ソリューション、トミナガ・コーポレーション他。主催：財団法人西日本産業貿易見本市協会

〈6月3日〜6月7日〉
ワシントン州住宅建材セミナー
水戸・前橋・甲府・名古屋・奈良
ワシントン州内の企業が約10社来日し、米国の最新情報を提供。テーマは「健康住宅と米国住宅建築事情」。ミニ展示会や個別商談会も実施。

〈8月19日・20日〉
EBPA夏季住宅セミナー
シアトル・デザインセンターやポートランドSODを見学。

〈9月9日〜9月13日〉
ワシントン州住宅建材セミナー

〈11月19日〜11月22日〉
ジャパン・ホーム・ショー2002
東京国際展示場（有明：東京ビックサイト）　ワシントン州内の企業と一緒に出展。

「ワシントン州住宅産業情報」
第13号発行予定。

---

## 資料請求　FAX 申込書　　米国ワシントン州政府日本事務所　FAX 03 ー 3459 ー 0897

**「ワシントン州住宅産業情報」の下記資料の入手を希望される方は、必要事項をご記入の上、ワシントン州政府日本事務所までファックス、Eメールにてお申し込み下さい。**

1. 「ワシントン州住宅産業情報」定期購読（無料：年に2回発行）
2. 「在来工法のための輸入窓・ドア　発注から、取付け・仕上げまで」（2000円・送料別）
3. 「枠組作業と建設初期段階の大工仕事」（2000円・送料別）
4. 「輸入窓の取付け方：地域対応の耐水防湿対策」（2000円・送料別）
5. 「ワシントン州住宅産業企業案内」2002年版（無料）
6. 住宅建材セミナー参加申込書（P.14を参照）
7. 作品紹介　掲載希望（P.11参照）
8. クラシファイド掲載希望（P.14参照）
9. その他ご意見・ご要望

| | |
|---|---|
| フリガナ<br>会社名 | 担当者 |
| フリガナ<br>住　所　〒 | |
| ＴＥＬ | E-mail |
| ＦＡＸ | |
| 業　種　1. 建設施工会社　2. 建材卸会社　3. 商社・貿易会社　4. 建築設計事務所　5. 販売代理店　6. その他（　　） | |

問合先
米国ワシントン州政府日本事務所
住宅産業部　御子柴淳子
〒105ー0001　東京都港区虎ノ門５ー４ー８ー301
TEL：03-5776-7766　FAX：03-3459-0897　e-mail：jwnko@gol.com
http：//www.trade.wa.gov/jpn_housing/

ARMSTRONG
BUILDING COMPONENTS

# アームストロング50周年記念

## アームシステム・ネットワーク新規加盟
## 募集キャンペーン実施中！

アームシステム・ネットワークに
加盟し整ったブランドで営業展開

**このようなことを感じたことがあるなら今すぐお電話を！**

- 最近の洋風化する若いお客さんの**ニーズに対応しきれない**
- 輸入住宅は過去に取り扱ってみたけど**失敗した**
- 輸入部材を**安く、リスクなく輸入したい**
- FCに加盟しようと思ったけど自社のオリジナリティが出せないし**初期投資が高い**、だけど誰かに聞きたい
- インターネットが今後大切なのは分かるけど、どうしていいかわからないし、**本当に効果があるの？**
- ホームページを作ったけど、**次に何をしたらいいの？**

アームストロング・サミットで
営業からメンテナンスまでを学ぶ
アームシステム・スペシャリスト
建築士と認定ビルダーの工務店

**アームストロングがアームシステムを通じて、御社のビジネスのお手伝いをいたします。**

現在、日本の住宅業界は大きな岐路に立たされています。住宅着工件数の減少、品質確保法案への対応などにより、特色を持たない工務店・設計事務所は淘汰の波に直面しています。そんな中、生き残る道として、アームストロングでは「ブランド直輸入」「デザイン」「インターネット」「高生産性」を提供しています。

**どうぞ、今こそ「アームシステム・ネットワーク」にご参加ください！**

アームストロング技術セミナーで
建てた家を寄付されたシアトルの
ハミルトン家

アームストロング・
セールス研修でメンテ
ナンスを学ぶ神奈川県
の営業スタッフ

**アームシステム・ネットワーク参加で得られるもの**

アームストロングという「ブランド」の直輸入、豊富な営業ツールや販促品、営業ノウハウ、健康住宅の施工法、次世代環境保全に対応した部材仕様、建築コスト・施工管理、技術研修、アメリカ人フレーマーの派遣、メーカー保証、アフターケア、メンテナンス、お客様への種々情報提供、その他

2001年度アームストロング技術セミナーに参加した
ビルダーやアーキテクト達

お問い合わせは
アームストロング国際事業部まで

**工務店・建設業の方**
**TEL:043-215-1301**
**FAX:043-215-2980**
**担当：大澤　成行**

**設計事務所・建築士の方**
**TEL:0792-98-6262**
**FAX:0792-98-2550**
**担当：長谷川　泰久**

健康住宅施工に役立
つドライウォール仕
上げを技術セミナー
で学ぶ現場監督

アウトドアシリーズのオーシャンと
それをデザインした建築士の
ロジャーウィリアムス

アームストロング社は創業1952年以来、合計約27000棟をアメリカ、ドイツ、日本などの世界各地で建設し、自社システム工場だからこそできる業界一の高品質カスタムハウスを、競争力のある価格帯で提供しています。

E-mail japansales@armstrong-homes.com　URL http://www.armsystem.net